

市内循環バス利用者 アンケート調査結果報告書

平成 2 4 年 1 月

都 留 市

1. アンケートの概要	
(1) 調査の目的	1
(2) 調査時期	1
(3) 調査の対象	1
(4) 調査方法	1
(5) アンケート内容	1
(6) 回収結果	1
(7) 本報告書中の記号、調査結果の数値について	1
2. アンケート調査結果	2
F 1 性別 (S A)	2
F 2 年齢 (S A)	2
F 3 職業 (S A)	3
F 4 自動車運転免許証の保有状況 (S A)	3
F 5 居住地 (S A)	4
問 1 利用バス停 (S A)	5
問 2 市内循環バスの利用頻度 (S A)	6
問 3 循環バスを利用する主な時間帯 (MA) (2つまで)	6
問 4 循環バスを利用する際の主な行き先や目的 (MA) (2つまで)	7
問 5 循環バスが運行される以前の交通手段 (MA) (2つまで)	8
問 6 市内循環バスから富士急行線や他の路線バスに乗り換えて出かける ことがありますか (MA)	8
問 7 都留市内の路線バス運行について大幅な見直しを望みますか (S A)	9
問 8 どの点について見直すべきか (MA)	9
問 9 循環バスの希望利用料金 (S A)	10
問 10 自由回答	10
3. アンケート調査結果まとめ	11
(1) 利用実態	11
(1) 今後の課題	11

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

市内循環バスの実証運行について、利用者の利用状況や改善要望等を把握し、より良い公共交通体系を検討するための基礎資料とする。

(2) 調査期間

平成 23 年 11 月 29 日（火）から 10 日間

(3) 調査の対象

期間内における循環バスを乗降した利用者（重複回答は無）

(4) 調査方法

バス車内における、記述式アンケート調査

(5) アンケート内容

属性に関する設問	5 問
市内路線バスに関する設問	10 問

(6) 回収件数

80 件

(7) 本報告書中の記号、調査結果の数値について

(SA) … 単一回答 (Single Answer) の略。選択回答は 1 項目のみ。

(MA) … 複数回答 (Multi Answer) の略。回答する選択肢の数に制限がある。

(一部回答を限定しているものもある。)

複数回答における回答率は 100% を超える場合がある。

n …… 回答者数 (number) の略。「n=100」は、回答者数が 100 人を表す。

その際の比率は、n を 100% として算出する。

各回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が 100% にならない場合がある。

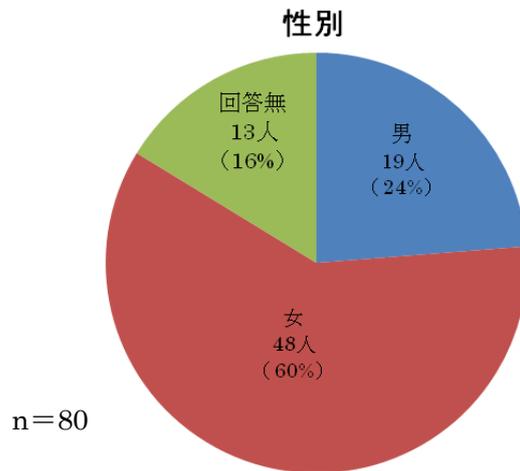
2. アンケート調査結果

F 1～F 5 回答者の属性 (SA)

F 1 性別 (SA)

【調査結果】

回答者の性別は、「男性」が24%、「女性」が48%となっており、乗車実績結果からも利用率は女性の方が高い結果となっています。

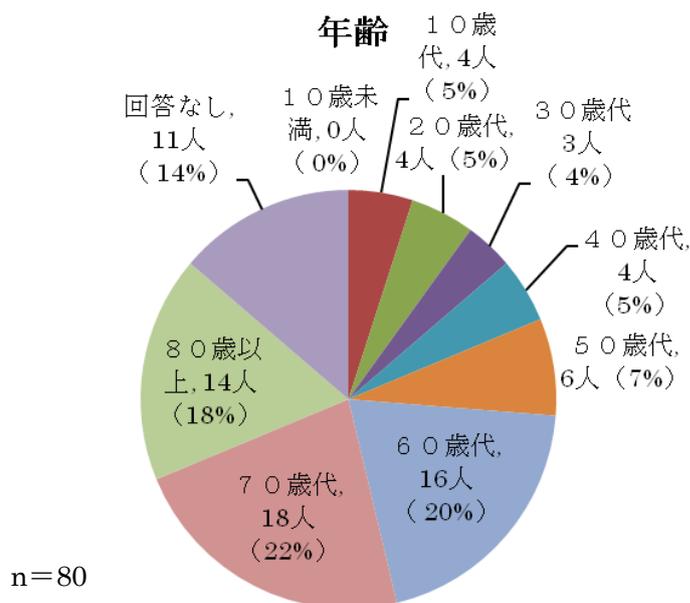


F 2 年齢 (SA)

【調査結果】

回答者の年齢は、「70代」が22%と最も多く、次いで「60歳代」が20%、「80歳以上」が18%となっています。

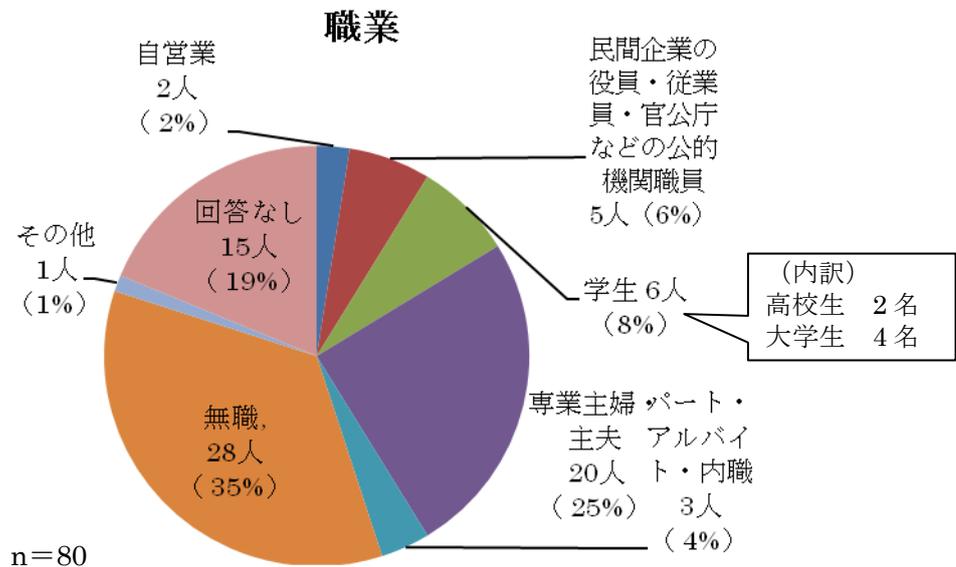
回答者ではありませんが、30歳代女性の同乗者として10歳代の乗車が記録されており、幅広い年齢層の乗車が確認できました。



F 3 職業 (S A)

【調査結果】

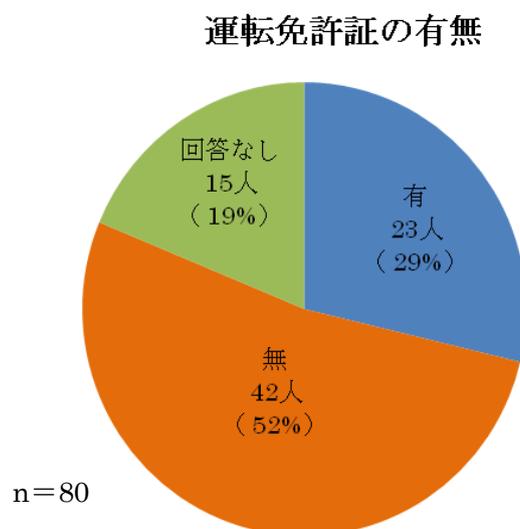
回答者の職業は、「無職」が35%と最も多く、次いで「専業主婦・パート・主夫・アルバイト・内職」が25%、学生が8%となっています。



F 4 自動車運転免許証の保有状況 (S A)

【調査結果】

回答者の自動車運転免許証の保有状況は、「保有している」が29%「保有していない」が52%となっています。



【調査結果】

利用者の居住地は、「上谷地域」が80名中9名、次いで「下谷地域」、「法能地域」が8名となっています。また、循環バス運行地域以外の人々の乗車も確認できました。

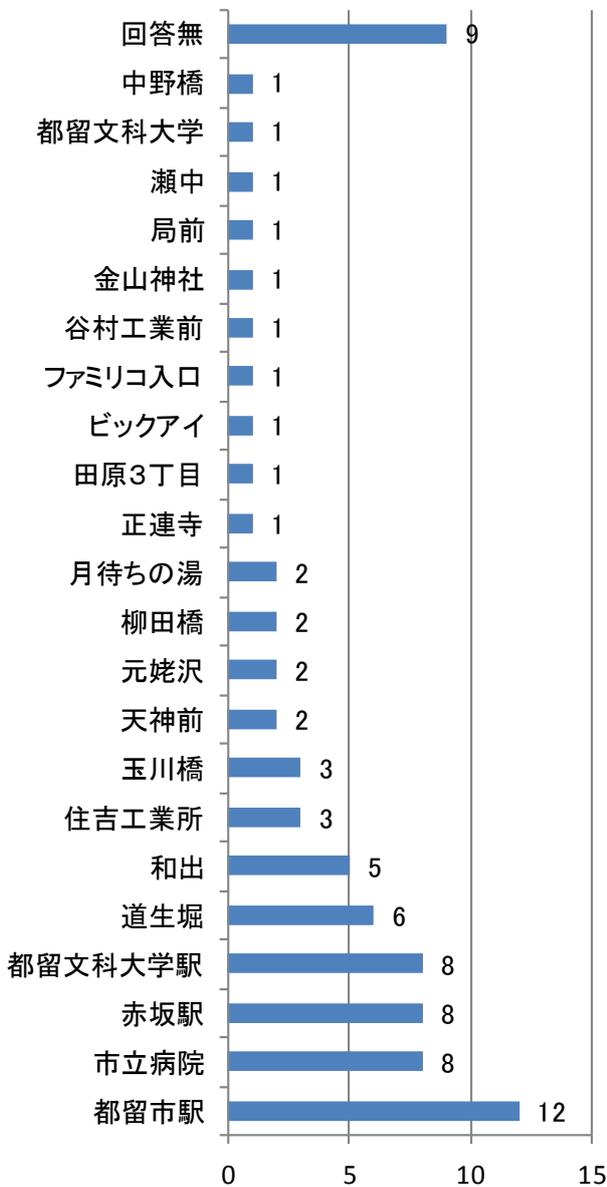
市町村名	字名	集計
都留市	上谷	9
	田原	4
	下谷	8
	玉川	4
	法能	8
	戸沢	6
	桂町	1
	古川渡	2
	四日市場	1
	田野倉	1
	金井	1
	字回答無	3
都留市 集計		48
大月市	不明	2
大月市 集計		2
東京都	八王子市	1
徳島県	国府町	1
県外 集計		2
回答無		28
総計		80

問 1 利用バス停（S A）

【調査結果】

乗車が多かったバス停留所は「都留市駅」（12名）、次いで「都留文科大学駅」「赤坂駅」「市立病院」（各8名）でした。また、降車が多かったバス停留所は、「市立病院」「月待ちの湯」（14名）が一番多く、次いで「都留市駅」（8名）、「都留文科大学駅」（7名）でした。乗降の多い停留所が駅であることから、電車との乗り換えが想定されます。

問1 乗車バス停



問1 降車バス停



問2 市内路線バスの利用頻度 (SA)

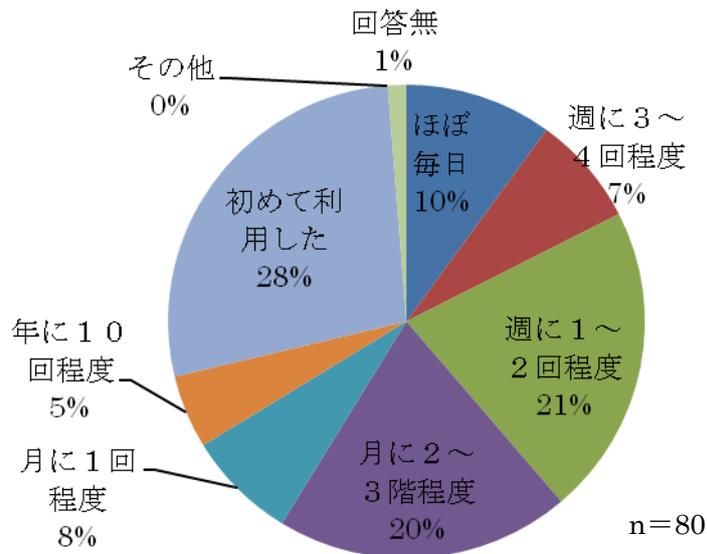
【調査結果】

市内循環バスの利用頻度は「週に1～2回程度」が21%と最も多く、次いで「週に2～3回」が20%となっています。また、ほぼ毎日利用する人は10%でした。

実証運行であることから、「初めて利用した」も28%あり、積極的な利用が確認されました。

利用者の半数以上は定期的な利用をしています。

問2 市内循環バスの利用 (SA)



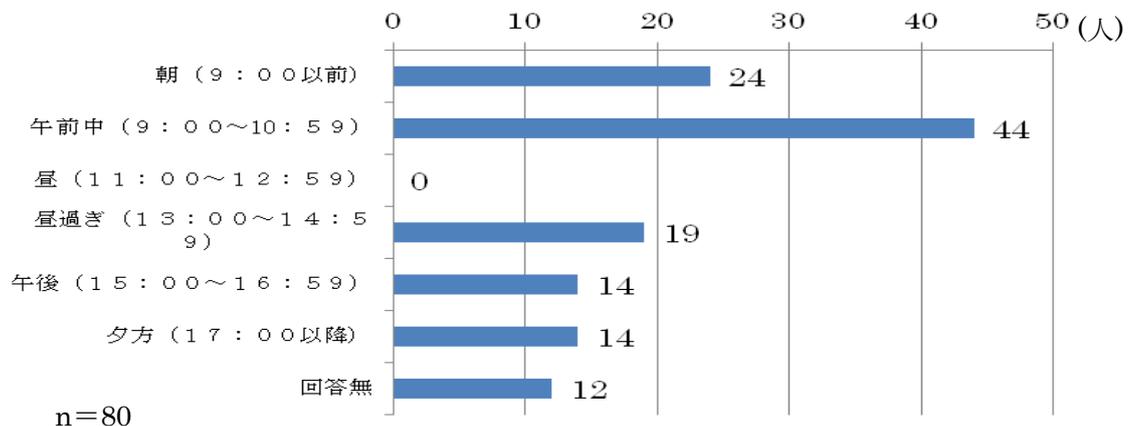
問3 路線バスを利用する主な時間帯 (MA) (2つまで)

【調査結果】

路線バスを利用する主な時間帯は、「午前中 (9:00～10:59)」が44人と最も多く回答者の半数以上、次いで「朝 (9:00以前)」が24人となっています。

「昼 (11:00～12:59)」はまったくありませんでした。

問3 バスを利用する主な時間帯 (MA)

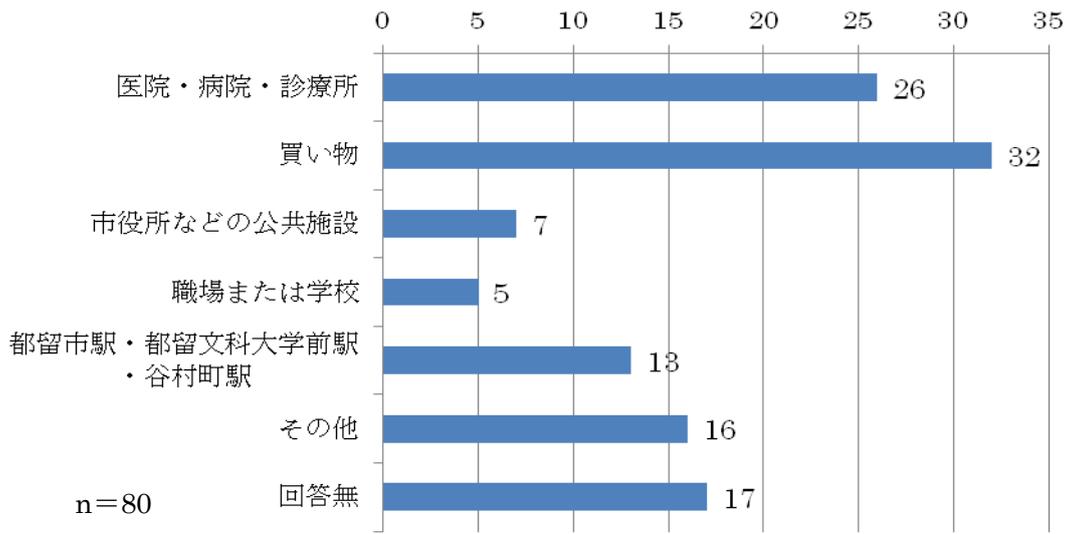


問4 路線バスを利用する際の主な行き先や目的（MA）（2つまで）

【調査結果】

路線バスを利用する際の主な行き先・目的は、「買い物」が32人と最も多く、次いで「医院・病院・診療所」が26人となっています。また、「その他」の回答では、「月待ちの湯」が10名となりほとんどでした。

問4 路線バスを利用する際の主な行き先・目的(MA)



【目的地の詳細】

医院・病院・診療所	市立病院、甲斐虎ノ門、大戸医院、大房医院、武井クリニック、渡辺内科、
買い物	Jマート、オギノ、公正屋、岡島、ウェルシア
市役所などの公共施設	YLO、銀行、市役所
その他	月待ちの湯、福祉施設、忘年会、高速バス乗車のため

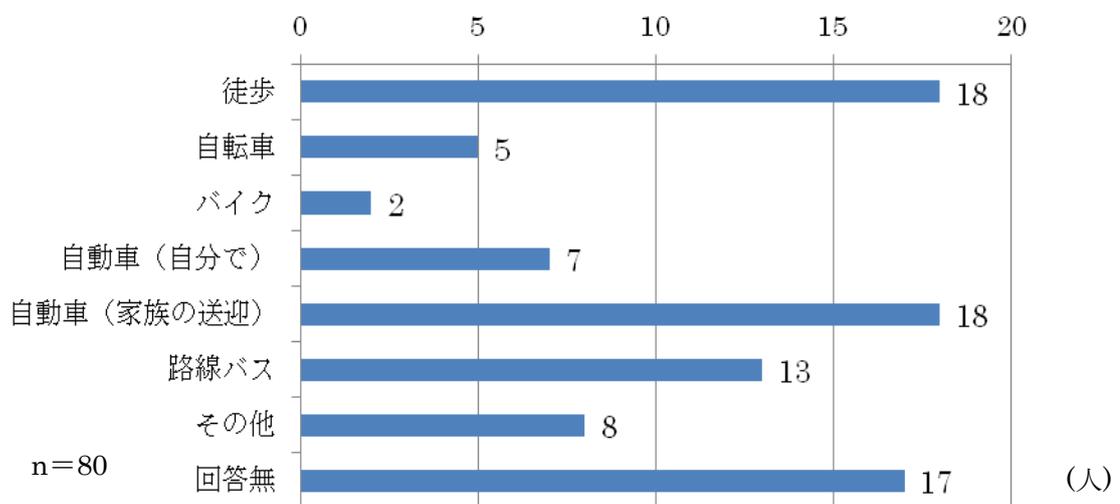
問5 循環バスが運行される以前の交通手段（MA）（2つまで）

【調査結果】

循環バスが運行される以前の交通手段について、「徒歩」「自動車(家族の送迎)」がそれぞれ18名で、「運転免許証がない」人の利用であると確認できます。

また、「自動車(自分で)」自家用車からの乗り換えも確認できました。「問2」における利用頻度と併せて判断し、今回の実証運行では自家用車からの乗り換えによる積極的な利用がうかがえました。

問5 循環バスが運行される以前の移動手段(MA)

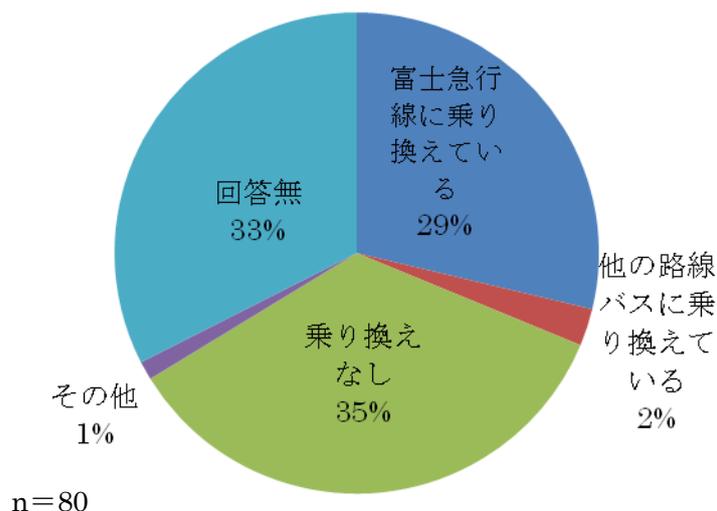


問6 市内の路線バスから富士急行線や他の路線バスに乗り換えて出かけることがありますか（MA）

【調査結果】

路線バスからの乗り換え状況について尋ねたところ、「富士急行線に乗り換えている」が29%と3分の1近くを占めています。一方、「他の路線バスへの乗り換えている」方はほとんど見受けられませんでした。

問6 乗り換えの有無(MA)

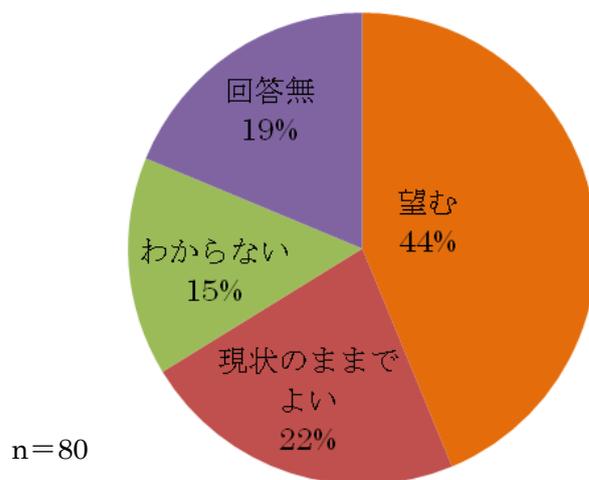


問7 都留市内の路線バス運行について大幅な見直しを望みますか（SA）

【調査結果】

市内の路線バス運行について大幅な見直しを望むかと尋ねたところ、「望む」が44%と半数近く見られました。

問7 路線バス運行の見直しについて(SA)

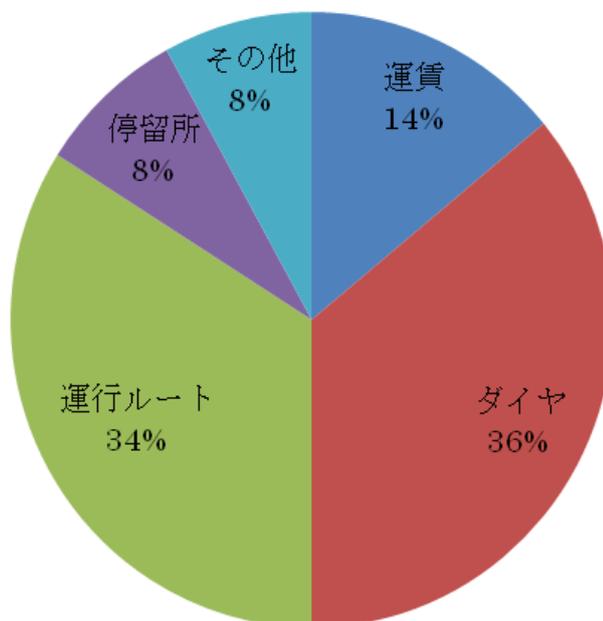
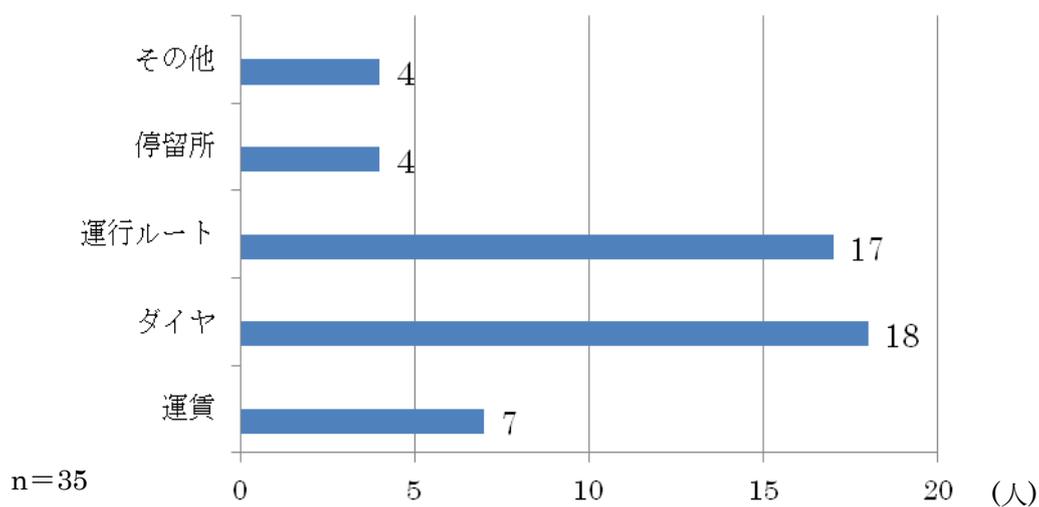


問8 見直しが必要な点(MA)

【調査結果】

問 7 で「路線バスの大幅な見直しを望む」と回答した人に、どの点について見直すべきか尋ねたところ、回答者の半数以上は「ダイヤ」、次いで「運行ルート」となっています。

問8 見直しが必要な点(MA)



見直して欲しい内容を見てみると、「ダイヤ」については、「本数を増やして欲しい」がほとんどです。

また、運行ルートについては、既存の定期路線を踏まえての回答も見られました。停留所に対する意見は、具体的な意見となっていました。

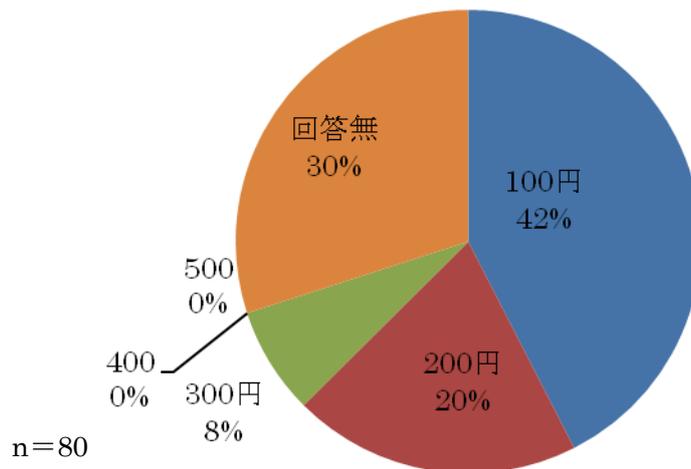
問 8 (1)運賃
安ければ乗る
循環バスの金額が市内全域に適用されるとよい
問 8 (2)ダイヤ
ダイヤが少ない(往復 5 本ほしい)
便数の増便(同意見 4 名)
循環バスの土日への運転拡大・本数の偏りをなくす
乗りつぎを良くする(電車、他の路線等) 9時ごろの時間帯
問 8:(3)運行ルート
乗り替えが難しい
東桂まで伸ばしてほしい
既存の定期路線を循環にすべき(同意見 2 名)
いま少し研究がほしい
デマンドをどの地域にも走らせ循環バスの乗りつぎをよくしてほしい
問 8:(4)停留所
正面と同時に側面からも見えるように
屋根のある停留所がほしい
問 8 (5)その他
またつづけて下さい。よろしくお願いします。
循環バスの戸沢方面に左右両方は必要なのか？開地、盛里、鹿留、戸沢、宝にデマンドを走らせてはどうか

問9 循環バスの希望利用料金

【調査結果】

循環バスの利用料金に対する質問では、現行の「100 円」が 43%と最も多く次いで「200 円」が 20%でした。

問9 循環バスの希望利用料金(SA)



問10 自由回答

- 循環は便利です。もう少し本数を増やしてほしい。(女性/40歳代)
- 学生へのアピールが足りなかった。(男性/20歳代)
- 継続を是非希望します。バスを利用することによって、心の余裕が生まれました。運転手さんとの心のふれあいが良かったです。利用する人も多く、学生、子連れの人もいて楽しい一日でした。
- 停留所は、上下線にある方が分かりやすく利用者も増えると思う。(女性/60歳代)
- バス停を分かりやすくしてください。年寄りのためにも継続してください。大変便利だと感じました。(男性/80歳代)
- もっと(長く)続けて下さい。(女性/70歳代)(男性/60歳代)
- 利用者が少ないが何とか続けることを望みます。(男性/60歳代)
- 朝一番のバス(10時28分発)をもっと早くしてもらいたい。病院へ着くのが10時30分以降でいつも診察が12時近くなり、家に帰るのが遅くなる。(女性/80歳代)
- 10月からではなく、早く循環バスの運転をしてほしい。(女性/60歳代)
- デマンドはある程度の融通がきけば200円でも利用する。もう少し頻繁に走らせてほしい。(男性/50歳代)
- 定時運行をお願いします。遅れると予約してある高速バスに乗れません。(男性/70歳代)
- 100円バスの運行を多く願います。私は大月です。(不明)

3. アンケート調査結果のまとめ

(1) 利用状況実態

今回の循環バスの実証運行においては、既存の定期路線バスの利用者のみではなく、これまで自らの運転や家族の運転に移動手段を頼っていた人の積極的な利用が見られました。

利用者のほとんどが60歳代から80歳代の高齢者であることは、他の定期路線バスと同様ですが、少数ではありますが、幅広い年齢層の方の利用も確認できました。

また、利用目的では、当初「通院」を利用目的の主体として路線及びダイヤの編成を行いました。が、実際は「買い物」にも使われており、日常生活の中で循環バスを有効に活用されたことがうかがえます。利用施設も循環路線上の様々な地域の病院、店舗等の利用が記録されていることから、運行経路は利用者のニーズに合ったものとなっていると判断します。

(2) 今後の課題

本格運行にあたっては、主に意見の多かったダイヤの増便への対応が求められます。しかし、バスを利用する主な時間帯も限られており、平日に利用する絶対的な人口も限られていると判断すると、持続可能な事業実施の観点から、利用者ニーズに合わせた効率的な運行とするためには、運行時間帯への十分な配慮が必要であると考えます。

また、今後持続可能な路線として運行するため、新たな利用者の開拓が必要であり、併せて市内の10分の1の人口を占める都留文科大学生の利用の拡大を図ることも重要な方策と考えられます。公共交通を維持するためには利用者の確保が不可欠であり、引き続き公共交通を利用することへの意識啓発等を積極的に行うことが必要です。

利用料金にあっては、今回の実証運行において、多くの人の利用を目的として、利用料金を100円としました。しかし、今後持続可能な運行事業を実施するためには、受益者負担である利用料金を十分に検討する必要があります。アンケートでは40%以上の方が100円を希望していますが200～300円を希望する方も30%近くありました。利用する人、しない人の意見も含め、財政負担のあり方を十分に考慮する中、公共交通の利用の活性化の面にも配慮した適正な料金設定が求められます。

さらに、他の公共交通機関との利用も併せて活性化を図るため、他の定期路線バスの利用料金の調整や他の公共交通機関への乗り換えの際のダイヤ調整等、料金体系の工夫も必要と考えます。

